

2011年6月19日 主日礼拝

司会 ①森屋師 ②松永兄 ③高木美兄

奏楽

祈禱 ①梅津兄 ②多田兄

賛美 聖歌576番 (愛と賛美み父に捧げ)

3つの愛

聖書 ① エペソ人への手紙1章15～19節

②③ 使徒行伝3章1～10節

音楽 ① 北島美佐子姉

②③ オンヌリ特別オーケストラ(DVD)

メッセージ ① 「奇跡の6万9999本松」 倉知契副牧師

②③ 「裸のお父さんをおおった子供達」

大川従道牧師

賛美 「注ぎたまえ主よ」(献金)

主の祈り

祝禱

【大和ニュース】

- ・ 「父の日」おめでとう！ありがとう！ご苦労さま！
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、ルツ会、SS教師会、VIP日吉、J.PLUSあり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は菅原伝道師と大川牧師。水曜夜と木曜朝。
- ・ 福音礼拝は、火曜屋2時半～3時半。説教は坪井副牧師。(シャローム館にて)
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は大野M主事。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は倉知副牧師。
- * シャローム館の大掃除は、木曜屋食後。*礼拝堂掃除は、土曜屋12時。

「しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。(ヨハネ四の十四)

石の枕

西小児の長谷川伝道師の信徒時代の証詞です。

初めての夫婦ゲンカは26年前のこと。ケンカの種は「什一献金」のことでした。新婚の頃は、実家のローンと借家の家賃を抱えたスタートでした。私は家内のやりくりが大変だろうと思いやって、「什一献金」は出来るだけでいいと言いました。ところが、家内は十分の一を捧げると祝福されるからと、手取りどころか、給料袋に書いてある色々な控除を引く前の支給総額の全部から十分の一を捧げると言い張って譲りません。それなら、マラキ書3章にあるように十分の一を捧げて神さまがどうされるか試してみようということになりました。

給料日の10日程前になると家内の顔色が変わってくるのがわかりました。おかずもだんだん少なくなっていました。家内は、昼に断食祈禱でもしているのかなと心配になってきましたが。何も言いません。もう駄目だろうと、次の日の朝、ごはんとお味噌汁を食べて仕事に出掛けました。さて、皆さんどうなったと思いますか？

その日、家内は家の奥でしょげかえているのではないかと恐る恐る家に帰りました。すると、車の音を聞きつけて、家内が家の中から飛び出してきて、満面の笑顔で、玄関脇の郵便受けの横を指差しました。そこには、30Kgの米袋に、さつまいも、じゃがいも、玉ねぎ、人参等々色々な野菜がぎっしり詰まっていました。農家の姉妹が食べきれないから食べてと、車で運んできてくれたのです。しかも、お土産にケーキまで持って。

何も知らない姉妹は、喜びのあまりとびついた家内に「そんなにお芋が好きだった？」と言われたそうです。これが、私たちに対する最初の主からのテストでした。あれから26年。かめの粉は一日も尽きることなく、現在まで祝福され続けています。神さまは、み言葉通り本当に真実なお方です。ハレルヤ！！

ある結婚披露宴でこんなことがありました。最後の親族代表あいさつのとき、新郎のお父さんが緊張の面持ちでマイクを持ちました。震える声で「み、みな、みな、皆様、私が新郎〇〇の……」と言いよんだ挙げ句、こう言いました。「母です！」?? *今日は「父の日」。がんばってください！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:使徒行伝4章～7章 Bコース:ネヘミヤ記9章～ヨブ記6章